



INABATA

企 業 概 要



社 是 愛 敬

Mission

経営理念

「愛」「敬」の精神に基づき、人を尊重し、
社会の発展に貢献する

Vision

目指す姿

時代とともに変化する顧客と社会のニーズに応え、
グローバルに事業を展開することにより、
価値ある存在として常に進化を続ける

IK Values

価値観

- 謙虚さと誠実さを基本とする（倫理観）
- 高い理想、大きな夢、熱い心を持って
常に限界に挑戦する（志）
- 自由闊達な議論とチームワークを重んじ、
社員の成長を大切にする（組織風土）
- 顧客の問題を顧客の立場から解決し、
顧客のベストパートナーとなる（機能）
- 世界の人々と価値を共有し、
そこに暮らす人々と共に発展する（共生）

商社ならではの複合機能の高度化を図り、 時代が必要とする価値を創造します。

1890年、京都の地で合成染料の輸入販売から創業した当社は、ケミカル事業を中心に事業を拡大してきました。現在は海外17カ国、約60拠点のネットワークを構築し、連結売上高に占める海外事業の割合が5割を超える企業グループとなりました。

今後一層加速するであろうビジネスのグローバル化や市場ニーズの変化に対応し、当社の持続的成長を実現するため、将来のありたい姿を想定した長期ビジョンを策定しました。

長期ビジョン「IK Vision 2030」

2017年5月策定

2025～2030年頃の当社のありたい姿

機能	商社機能を基本としつつも、製造・物流・ファイナンス等の複合的な機能の一層の高度化を図る
規模感	連結売上高 1兆円以上を早期に実現
海外比率	70%以上
ポートフォリオ	情報電子・合成樹脂以外の事業の比率を1/3以上に

創業以来129年にわたり培ってきた販売・製造・物流・ファイナンスといった様々な機能を、国内外の拠点を結ぶ緊密な情報ネットワークと組み合わせ、より高度なソリューションを提供することにより、これからも時代が必要とする価値を創造し続けます。

皆様には、これまでと変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

稲畑勝彦



中期経営計画に基づいたアクションで 稲畑のビジネスはさらに拡大していきます。

当社は長期ビジョン実現のファーストステップとして、中期経営計画「*New Challenge 2020*」を策定しました。
長期ビジョンを見据え、中期経営計画の達成を目指して、社会や顧客から必要とされる企業として進化を続けていきます。

中期経営計画「*New Challenge 2020*」重点施策

- 1 海外事業の更なる拡大と深化
- 2 成長が見込める市場・未開拓分野への注力
- 3 グローバルな経営情報インフラの高度化
- 4 商社ビジネス拡大に向けた投資の積極化
- 5 保有資産の継続的な見直しと財務体質の強化
- 6 グローバル人財マネジメントの確立

定量目標(2021年3月期)

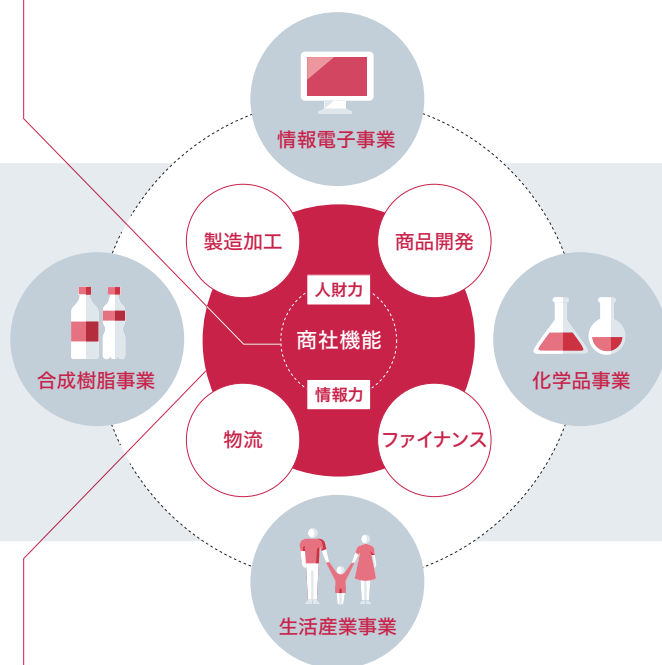


※純利益＝親会社株主に帰属する純利益

※ネットD/Eレシオ＝(有利子負債－現預金)／自己資本

商社としての強みの育成・拡大

商社の重要な経営資源である「人財力」と「情報力」のさらなる強化を目指します。各分野の専門人財やナショナルスタッフの育成を推進するとともに、仕入先と販売先との間により強固な関係を構築していきます。



複合機能の高度化

商社でありながら独自に製造・加工・物流拠点を持ち、複合機能の高度化を図ることで、付加価値の提供に努めています。2019年はインドネシアで物流センターを増強し物流サービスの強化を図ります。

注力分野への集中とグローバル展開の加速

自動車、ライフサイエンス・医療、環境・エネルギーなど成長が見込める分野へ注力するとともに、農業を含む食品分野への新たな展開を進めます。海外拠点の拡充やグローバル人財の増強を図ることで、グローバル展開を一層加速させます。



インドネシアの物流センター



東南アジア／インド

域内に10の製造加工拠点を有し、
各事業におけるビジネス拡大に注力しています。



情報電子

家電、OA機器業界向けに液晶関連材料、プリンター関連原料を販売しています。



化学品

合成樹脂メーカーに各種樹脂原料を、自動車関連業界へゴム原料、添加剤などを販売。また、域内に進出する日系住設メーカーへの部材供給、日本製デッキ材の販売も行っています。



合成樹脂

自動車・自動二輪、家電、OA機器、包装資材、飲料の各業界向けに合成樹脂原料の販売を行うほか、フィルム、シート製品の域内販売ならびに日本への輸出を行っています。また各地にて、樹脂コンパウンド事業ならびにフィルム、シートの製造・加工事業も展開しています。



生活産業

水産物、農産物を加工し、日本、米国向けに輸出販売しています。また、域内各国の化粧品業界向けに、フランスの製造子会社Pharmasyntthese S.A.S.の化粧品原料を販売しています。

北東アジア／日本

中国、台湾、韓国の21都市を結ぶ拠点ネットワークを生かし、
稲畑産業の中核事業を発展させています。



情報電子

液晶パネル向け偏光板、拡散板、配向膜、バックライト用部材、LED用材料、装置などを販売しています。



化学品

各種塗料原料、高機能樹脂原料、自動車業界向けゴム原料、情報記録紙用原料などの機能化学製品を販売しています。また、グループ会社の上海稲畑精細化工有限公司(中国)では、主に自動車向け塗料原料の加工を行っています。



合成樹脂

自動車・自動二輪、家電、OA機器、環境、医療などの各業界向けに汎用樹脂や高機能樹脂を、さらに自社での加工機能を生かした各種樹脂コンパウンド品を販売しています。



生活産業

グローバルネットワークを生かし、中国を起点とした各種農産物・水産物の三国間取引を行っているほか、チリ産ワインを中国へ輸出しています。天津では、安心安全の意識の高まりを受け、トレーサビリティが可能な豪州産の牧草を中国大手乳製品メーカーに販売しています。

米州

情報電子、合成樹脂、生活産業の各セグメント、ならびにメキシコや、南米はブラジルなどでの事業拡大に注力しています。



情報電子

液晶パネル、太陽電池、半導体、イメージング業界向けに電子材料、機能フィルム、機能化学品や染料、顔料を販売しています。また、自動車向けに加飾フィルムの販売も行っています。メキシコでは、自動車向けを中心に工場用クレーン事業を展開しています。



合成樹脂

自動車、家電業界向けに高機能樹脂、汎用樹脂を販売しています。メキシコでは、商社機能に加え樹脂コンパウンド加工を展開、自動車分野を中心に幅広いサービスを提供しています。



化学品

自動車関連業界、製紙関連業界、印刷業界へ添加剤などの機能化学品、染色助剤、塗料原料を販売しています。



生活産業

医薬品業界向けに中間体、原体、製剤を輸出入販売。食品関連では、ブルーベリーなどの冷凍果実や、外食・中食産業向けのすし商材をはじめとする各種冷凍水産物の販売を行っています。

欧州

環境・エネルギー、自動車、ライフサイエンスを中心に、
独自の機能と機動力を生かした事業を展開しています。



情報電子

インクジェット関連材料、半導体材料、水素発生装置、高機能フィルムなどを取り扱っています。



化学品

情報記録紙用原料、インキ原料、樹脂添加剤など機能化学品、工業用フィルターを取り扱っています。



合成樹脂

自動車、家電業界向けに高機能樹脂、汎用樹脂を販売しています。



生活産業

医薬品および化粧品原料、電子材料関連ケミカルの研究開発・製造販売を行うPharmasynthese S.A.S.(フランス)を運営しています。また、食品事業にも取り組んでいます。

「製造加工機能」を駆使することで 多様なニーズに、きめ細かく対応しています。

稲畑産業は、商社機能を補完する独自の製造加工・研究開発拠点を国内外に設けています。直接モノづくりに参加することで、顧客の多様なニーズに対してメーカー的な視点からのきめ細かな対応が可能です。工場に寄せられる顧客の要望など、現場ならではの“生の声”をキャッチできることも稲畑産業の大きな強みの一つです。

東南アジア



PT. IK Precision Indonesia
[Jakarta, INDONESIA]
合成樹脂の成型加工



PT. Inabata Creation Indonesia
[Jakarta, INDONESIA]
グリップテープの加工



PT. S-IK Indonesia
[Jakarta, INDONESIA]
樹脂コンパウンド



SIK Color(M) Sdn. Bhd.
[Johor, MALAYSIA]
樹脂コンパウンド



IK Plastic Compound Phils. Inc.
[Binan, PHILIPPINES]
樹脂コンパウンド



Apple Film Co., Ltd.
[Bangkok, THAILAND]
プラスチックフィルムの製造



Hi-Tech Rubber Products Co., Ltd.
[Ayutthaya, THAILAND]
各種ゴム成型品の製造



SIK(Thailand) Ltd.
[Bangkok, THAILAND]
樹脂コンパウンド



Apple Film Da Nang Co., Ltd.
[Da Nang, VIETNAM]
プラスチックフィルムの製造



SIK Vietnam Co., Ltd.
[Haiphong, VIETNAM]
樹脂コンパウンド



情報電子



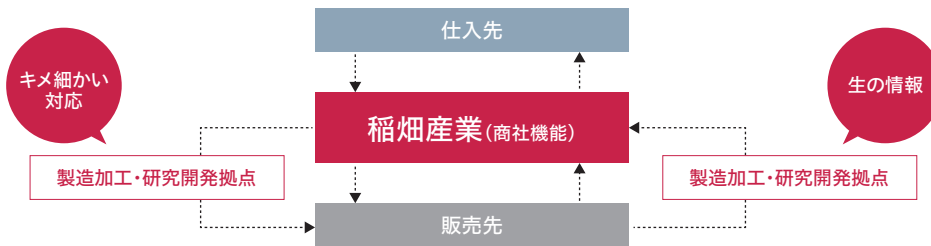
化学品



生活産業



合成樹脂



北東アジア



稲畑工貿(大連保稅区)有限公司
[中国 遼寧省大連市]
樹脂コンパウンド



山陽稲畑複合塑料(東莞)有限公司
[中国 広東省東莞市]
樹脂コンパウンド



上海稲畑精細化工有限公司
[中国 上海市]
塗料原料の加工



米州



IK Plastic Compound Mexico, S.A. de C.V.
[Silao, MEXICO]
樹脂コンパウンド



欧州



Pharmasynthese S.A.S.
[Normandy, FRANCE]
精密化学品の製造



日本



アイ・アンド・ピー(株)
[宮城県大崎市]
合成樹脂の成型加工



(株)一光園
[大阪府堺市]
水産物等の加工



イナバタオブテック(株)※
[神奈川県川崎市]
光半導体封止樹脂の研究・開発



エヌ・アイ・シー(株)
[茨城県常総市]
プラスチックフィルム製品の加工



関西高分子工業(株)
[奈良県大和郡山市]
プラスチックフィルムの製造



太洋プラスチック(株)
[埼玉県蓮田市]
プラスチックフィルムの製造



※画像はイナバタオブテックが入居する「かながわサイエンスパーク」



情報電子第一本部

FPDを軸としながら 新ビジネス展開へ



情報電子第一本部長
岡島 俊雅

情報電子第一本部では、液晶・有機EL(OLED)を中心としたフラットパネルディスプレイ(FPD)やLED関連業界への部材を中心に、偏光フィルムやバックライトの各種部材、LED封止材や液晶に使われる特殊テープの原料などを取り扱い、さまざまなサービスを内外の幅広い顧客に提供しています。

これまでに培われてきたさまざまな加工やサプライチェーン構築の実績はもとより、専門知識と情報力を基礎とする提案型ビジネスは、当本部の大きな強みです。国内の顧客との関係強化はもちろんですが、中国、台湾、韓国、アメリカなど海外メーカーとの液晶・有機EL(OLED)ビジネス拡大にも注力しています。

これらのビジネスを核としつつ、新規分野においても、既存顧客などとのネットワークを活用した新たなビジネスの開拓に取り組んでいます。

事業内容

第一営業部

独自のグローバルサプライチェーンを生かし、きめ細かなサービスを提供。

取扱品目

偏光板、偏光板原料、配向膜、バックライト関連部材、有機EL(OLED)関連部材、タッチパネル関連部材、液晶前工程薬液、コネクター

第二営業部

ディスプレイ用LED封止材や有機EL(OLED)関連装置など幅広い商材を取り扱う。新規分野にも進出。

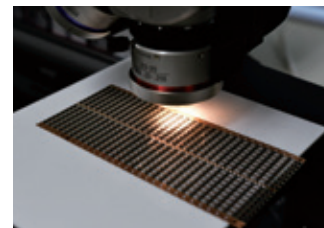
取扱品目

LED封止材、特殊テープ用原料、液晶・有機EL(OLED)関連装置

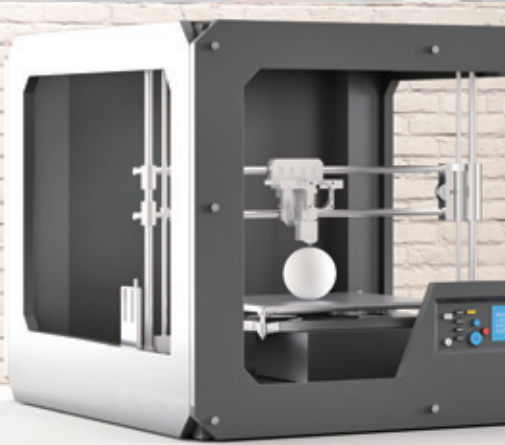
TOPICS

LED封止材のR&D強化を担う子会社を設立

稲畑産業は、2002年にドイツの化学・消費材メーカー「Henkel」の日本法人であるHenkel JapanからLED封止材の製造・販売権を取得し、製品開発から製造、品質保証、カスタマーサポートまで一貫した体制で事業を展開してきました。さらに“商社兼メーカー”としてLED封止材事業を進化させていくため、2017年には製品開発と新用途開拓の強化を担う子会社「イナバタオプテック株式会社」を設立。ここに優れた研究者を集結し、光半導体向けの封止樹脂・接着剤を中心とした新商品を開発しています。



光学顕微鏡での封止確認工程



情報電子第二本部

デジタル印刷・イメージング関連を中心に、商社の強みを生かして事業領域を拡大



情報電子第二本部長
古尾谷 大祐

情報電子第二本部は、電子写真、インクジェット、3Dプリンターなどのデジタル印刷やイメージング関連業界に各種原材料を販売しています。また、長い歴史のなかで培った業界での専門知識と情報力を生かし、お取引先様に対してさまざまな提案を行っています。世界各リージョンのグループ会社とグローバルに連携して、物流管理を含む幅広いサービスを提供しています。

また、新たな領域でのビジネスにも取り組んでおり、自動車分野では加飾フィルムやTOM工法と呼ばれるユニークな加飾技術を活用したビジネスを展開しています。農業分野では、農家の生産性を高めるための新たな資材や粗飼料などの事業を進めています。

事業内容

第一営業部

電子写真業界向けにトナー原料や周辺部材に使用される原材料を販売。3Dプリンター関連製品ならびにフィルム関連材料を販売。

取扱品目

トナー原材料・ 現像材	樹脂、顔料、ワックス、各種添加剤 他
各種機能性材料	シリコン製品、潤滑剤、フィルム材料、 静電防止・導電性コート剤、3Dプリンター用 フィラメント材料 他
農業関連	各種農業用資材、飼料原料、酪農関連資材

第二営業部

インクジェット業界向けにインク原料や周辺部材に使用される原材料を販売。

取扱品目

インクジェット原料	染料、顔料、溶剤、各種添加剤
その他	樹脂、フィルム製品、成形部材

第三営業部

イメージング・半導体・自動車・ライフサイエンス関連の材料および設備の販売。

取扱品目

光学フィルム 原材料	樹脂添加剤、可塑剤、各種機能性添加剤 他
各種機能性材料	半導体原料、写真薬原料、印刷版原料、 セラミックス材料、高機能樹脂（樹脂加工含む）、 各種中間体（受託合成含む） 他
加飾フィルム 関連材料	自動車・建材・家電用各種フィルム、 TOM成形機 他

TOPICS

環境にやさしく意匠性が高い自動車用加飾技術・フィルム

3次元加飾工法の一つであるTOM成形機（布施真空㈱製）を核として、Tier1／Tier2へ自動車内装パーツ用途、自動車メーカーへ自動車外装加飾用途での工法・デザインの提案を進めています。欧州・米州では、当社資産のTOM成形機を有し、お客様の迅速な試作対応や、量産体制構築をサポートしています。あわせて装置メンテナンスサポートも行っています。中国においても現地パートナーと連携し、成形機・加飾フィルムの販路を開拓しています。また、自動車用途のほかに、建材や家電用途にも、TOM成形機を用いた加飾技術・フィルムを提案しています。





情報電子第三本部

再生可能エネルギー、IoTなど 成長市場向けビジネスを強化



情報電子第三部長
田中 勝敏

情報電子第三本部は、主に再生可能エネルギーや半導体・電子部品、工業用材料などの幅広いビジネスフィールドで、原料からプロセス材料、製品まで、高度な専門性を駆使したソリューションを提供しています。また、海外ネットワークを活用した最適な原材料の探索やベンダー主導型在庫管理(VMI)の提案など、商社ならではの強みを生かし、お客様のニーズにきめ細かく対応しています。

成長市場向けのビジネスを強化するために、再生可能エネルギー分野では太陽電池およびLiB用材料・部材をコアに、水素発生装置や風力発電機用ブレード、バイオマス発電用燃料など、商材の幅を広げています。同時に、拡大するIoT市場向けでは低消費電力型サーバーやコンテナ型データセンターを軸に周辺部材の取り扱い拡充に注力しています。

これからも“お客様の課題を解決するソリューションプロバイダー”の役割を果たすため、専門知識とスキルを有する人財の育成とグローバルネットワークの強化に努めていきます。

事業内容

第一営業部

創エネルギー、蓄エネルギーなど各種エネルギー分野における製品、材料の販売。各種工業製品の販売。

取扱品目

創エネルギー分野	太陽光発電システム関連部材（パネル・パワコン・各種架台）、次世代太陽電池材料（銀ペースト・封止材・シリコン接着剤）、風力発電システム関連部材（小型風力発電機・パワコン）、水素エネルギー関連部材（AEM水素製造装置・燃料電池）、バイオマス発電用燃料
蓄エネルギー分野	リチウムイオン電池材料、リチウムイオン電池セル、モジュール、電池組立装置、キャパシタ用材料
省エネルギー・放エネルギー分野	人工知能・ブロックチェーン用クラウドシステム、省電力ARMストレージサーバー
各種工業・電子・光学材料分野	機能性フィルム（工業・電子・光学用）、テープおよびテープ材料（基材・ライナー・各種ケミカル）、衛生用品材料（不織布等）、フッ素樹脂、蓄光材料、透明ポリイミド原料、スマートカード材料、3Dセンサーおよびセンサー材料、モーター・ジェネレーター用部品、インバーター・コンバーター用部品

第二営業部

半導体関連材料、電子デバイス関連材料、各種工業材料の販売。

取扱品目

半導体・電子部品関連	マスクブランク（半導体、FPDのフォトマスク原版）、ペリクル（フォトマスクの異物混入防止カバー）、化合物半導体ウエハー、半導体用反射防止コーティング材（BARC）、半導体封止材、ダイシングテープ、半導体ウエハーコート材、300mmシリコンウエハー、高純度アルミナ、バイヤーアルミナ、各種センサー材料
プロセス装置用部品	サセプター
バイオテクノロジー	細胞培養向け接着抑制コーティング材料

TOPICS

IoTビジネスを第4の柱へ

クラウドサービスの拡大に伴いデータセンターの消費電力の増大が社会課題となっています。そのような中、当本部では英国のベンチャー企業が開発した低消費電力型サーバーやドイツのベンチャー企業が開発した空冷式・水冷式コンテナ型データセンターの取り扱いを開始しました。今後はエネルギー、半導体、工業材料に次ぐ第4の柱としてIoTビジネスを成長させるため、ハードだけでなくデータ収集、解析、提案などトータルソリューションの提供を目指します。



低消費電力型サーバー



化学品本部

化学部門と建材部門のシナジーを
発揮し、上流から下流まで
“最適な商材・サービス”を提供



化学品本部長
高橋 豊

化学品本部は、商社でありながら製造・加工拠点をもつ当社ならではのアドバンテージを生かしつつ、バリューチェーンの上流から中流を担う化学品3部と、最終製品に近い下流を担う建材部がシナジーを発揮し、お客様に最適な商材・サービスを提案しています。

化学部門は、合成樹脂・ウレタン・繊維などの石油化学関連産業に対する原料・中間物の販売をメインとする「スペシャリティケミカル部」、塗料・インキ・接着剤を三本柱に添加剤や溶剤など幅広い原材料を供給する「パフォーマンスケミカル部」、自動車を中心に船舶や航空機で使われる摩擦材・タイヤ原料・放熱材などを販売する「モビリティケミカル部」から成り立っています。また、建材部門はハウスメーカーや建材・住設材メーカーが必要とする環境に配慮した建材、パーティクルボード・木材・住設機器・プラスチック製品やその原料などを取り扱っています。

事業内容

スペシャルティケミカル部

合成樹脂、スーパーエンジニアリングプラスチック、ウレタン、繊維の各業界への原料・中間物の販売。特殊エラストマーの販売。製紙・ダンボール用原料ならびに情報記録紙用原料の供給。

取扱品目

樹脂・繊維原料、触媒、酸化防止剤、紫外線吸収剤、溶媒、重合開始剤、機能性樹脂、機能性繊維、情報記録紙用原料、ポリウレタン原料、パイプライン全般製品、インフラ・土木関連の材料等

パフォーマンスケミカル部

塗料、インキ、接着剤の各業界向けに各種樹脂やコーティング原材料を幅広く提供。

取扱品目

樹脂、樹脂原料、消泡剤、防汚剤、粘性調整剤、顔料等

モビリティケミカル部

自動車部品用原料・化学品の販売。

取扱品目

EV用放熱材および原料、摩擦材、ガasket・タイヤ原料、エアバッグ原料、車載ディスプレイ部品関連

建材部

住宅・建材・住設機器メーカー向けに、原材料から製品までを幅広く販売。集成材メーカーへの原材料輸入販売と海外マーケットへの製品輸出販売。

取扱品目

パーティクルボード（繊維板）、内装建材、外装建材、水回り製品、木質ボード用接着剤、樹脂成型品等

輸入商材 集成材原材料、LVL、木質系チップ等

輸出商材 ウッドプラスチック複合デッキおよび外装材、住設機器向け樹脂材等

TOPICS

次世代モビリティを見据えた取り組み

近年、自動車業界では環境配慮の観点からEV（電気駆動）へのシフトが進むとともに、自動運転の実現も間近に迫っており、今後は“次世代モビリティへの対応”が成長の鍵となっています。そうした時代の変化に対応するため、当本部ではバッテリー放熱材などEV関連製品や、マルチディスプレイ化に対応したパネル周辺製品などの関連商材を拡充しています。また、自動車メーカーが世界各国での現地生産に取り組むなか、当社もバッテリー放熱材メーカーの現地化に協力するなど、顧客に寄り添ったビジネスを展開していきます。





生活産業本部

健康で快適な生活の実現に向けて 食とライフサイエンスの事業を展開



生活産業本部長
藤本 康之

生活産業本部は、主に医薬品、防虫・殺虫剤や芳香・消臭剤などの原料を取り扱う「ライフサイエンスビジネス」と、水産・農産物を取り扱う「食品ビジネス」を展開しています。

ライフサイエンスビジネスは、海外拠点での医薬品原料・中間体の製造をはじめ、先端医療用装置・材料の調達、有機合成受託サービス、医薬品物流サービス、さらには家庭用品の企画開発までトータルソリューションを提供しています。

食品ビジネスでは、安心・安全な農産物・水産物を世界中から輸入・販売するだけでなく、北海道のブルーベリー栽培やベトナムの水産品加工などにも取り組み、川上から川下まで幅広い分野でビジネスを展開しています。

また、当本部ではグローバルビジネスの強化にも注力しており、アジア地域のドラッグストアで需要が高い“日本クオリティの機能性食品・飲料”のPB製品の展開を進めています。加えて、海苔、ワサビ、ごま油、塩麴など、日本食材の海外展開や三国間取引を進めていきます。

事業内容

ライフサイエンス部

ヒューマンヘルスケアのさまざまなシーンにおいて、家庭用品から医薬品までグローバルに原料調達をサポート。また、各種製品のサプライチェーン構築にトータルソリューションを提供。

取扱品目

医薬品・先端医療・ 化学品業界	医薬品原体・中間体、再生医療用機器・ 消耗品、化学合成用特殊試薬・触媒、 その他ファインケミカル
防虫・殺虫剤業界	防・殺虫剤用原体、溶剤、その他ファイン ケミカル
ホーム・ プロダクツ業界	洗剤原料、芳香・消臭剤、化粧品原料、 機能性食品・健康飲料、その他ファイン ケミカル

食品部

「顔の見える生産者から顔の見える消費者へ」をモットーに、安心・安全な農産物、水産物を世界中から提供。北海道でのブルーベリー栽培や、ベトナムでの水産品加工など、川上から川下まで、幅広い分野・地域で新規ビジネスを創出。

取扱品目

農産物	ブルーベリー、マンゴー、ブドウ、イチゴなどの冷凍果実、およびホウレンソウ、サトイモ、カボチャなどの冷凍野菜
水産物	切り身魚、海老、蟹、貝類、イカ等

TOPICS

自治体との連携による地域密着型ビジネス

稲畑産業は、北海道余市町にある約20万平方メートルの農場でブルーベリーなどの農産物を栽培しています。2018年12月には、余市町との間で生産品の販路拡大による地域活性を目指した包括連携協定を締結し、当社の強みと余市町の農林水産資源や生産品を掛け合わせることでシナジーを生み出す“地域密着型”のビジネスに取り組んでいます。農場の収穫作業には、町内の障がい者施設に入所されている方に製品の選別や除草等の農作業を委託するなど、地元の雇用創出にも貢献しています。



北海道余市町のブルーベリー畑



合成樹脂第一本部

独創性豊かなパートナーとして お客様と共に発展



合成樹脂第一部長
中野 幸治

合成樹脂第一本部では、成型材第一部と第二部で生活用品や建材・土木向けの合成樹脂、高機能樹脂第一部で家電・OA機器向けの高機能樹脂材料や関連資材、高機能樹脂第二部と第三部で自動車や自動二輪向けの樹脂コンパウンド製品を取り扱っています。

アジアの6カ国とメキシコの計8カ所で樹脂コンパウンド工場を運営し、材料の選定から加工に至るトータルなサービスを提供しています。海外拠点には合成樹脂のスペシャリストを配置するほか、現地スタッフをマネージャーに登用するなど、現地で人財を育成することで情報力の向上を図っています。また海外で自社倉庫を構え、物流機能拡充にも取り組んでいます。このように海外拠点を強化することで、お客様の工場の海外移転や現地生産化にもきめ細やかに対応。樹脂コンパウンド以外にもグループの強みである優れた開発力や特殊技術を生かし、国内外の製造拠点や加工技術のさらなる強化・拡充を図りながら、合併事業や異業種間のコラボレーションにも取り組んでいきます。

今後もさらに高度な専門知識を有する人財を育成し、環境保全や安全性などの課題解決に貢献する製品・サービスを提供し、お客様と共に発展できる独創性豊かなパートナーであり続けたいと考えています。

事業内容

成型材第一部・第二部

国内外において、建材、土木、生活用品、自動車、電材、食品容器、医療などさまざまな業界へ合成樹脂、各種加工品、機械設備を販売。

取扱品目

塩ビ樹脂、可塑剤、添加剤、汎用樹脂（オレフィン系、スチレン系、PET樹脂）、各種コンパウンド、各種エラストマー、エンジニアリングプラスチック、合成ゴム、樹脂製品（異形押出品、フィルム・シート、包装材）、機械設備

高機能樹脂第一部

OA、家電マーケットを中心にグローバルでの樹脂材料の最適調達を提案。顧客とサプライヤー間のコーディネーターとしての役割を担い、海外進出されるお客様には、マーケット調査、労務、法務などの情報を提供。

取扱品目

汎用樹脂からスーパーエンジニアリングプラスチックまで、成型機・付帯設備、レーザー溶着機、特殊成型加工品および関連部材、リサイクル材

高機能樹脂第二部・第三部

車両マーケットを中心に樹脂材料および、物流ソリューションの提案、さらには製造設備のファイナンスサポートまで複合的な営業活動を展開。

取扱品目

汎用樹脂からスーパーエンジニアリングプラスチックまで、成型機・付帯設備、レーザー溶着機、放熱関連製品、特殊成型加工品

事業開発部

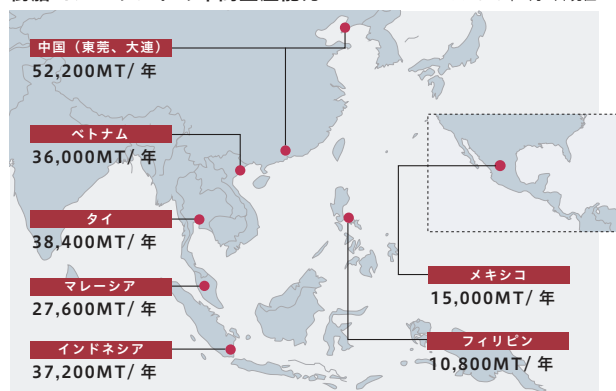
専門知識やノウハウを生かし、素材の提案から特殊成型技術、加工、製品に至るまでの「ものづくり」をサポート。

取扱品目

ストレッチャブルPCB、高融点材料への加飾（めっき）技術、異種材料接合技術、アルミ「インパクト工法」製品、CNF（セルロースナノファイバー）+樹脂複合材料

樹脂コンパウンドの年間生産能力

※2019年4月1日現在



7カ国で計8工場を展開 合計年間生産量：217,200MT/年

TOPICS

グローバルで現地に根づいた製販連携

樹脂コンパウンド工場がある拠点には、必ず稲畑産業の販売現地法人があり、プラスチック部門のスペシャリストが常駐しています。商社の物流、在庫機能、情報提供、提案機能に加えて、加工部門と商社部門が連携することで細やかな現地対応を実現しています。



ベレット状にカットした樹脂



合成樹脂第二本部

フィルム・シートに関する トータルソリューションを提供



合成樹脂第二部長
佐々木 知久

合成樹脂第二本部は、フィルム・シートに関する企画立案から素材選定、製造加工を行うほか、最終製品、およびパッケージングに関する企画などを提案しています。その取り扱い分野は、ポリエチレン樹脂やフィルム製品などの産業資材、加工用フィルム、ラミネート製品、シート用樹脂原料および成形品、スポーツ資材など多岐にわたります。

国内に製造子会社3社と販売子会社1社を持ち、海外においてもタイ・インドネシア・ベトナムに製造工場を保有するなど、商社という枠を超えて原材料から成形まで一貫した体制を整えていることが当社の強みです。

今後も、フィルム業界における“総合パッケージングプランナー”として、日本が誇る高品質フィルム製品の海外展開を図っていくとともに、国内加工メーカーの海外進出もサポートしていきます。また海外で、日本と同等の品質レベルのフィルム製品を発掘し、日本に輸入するという新たなビジネスを視野に入れています。

事業内容

産業材部

国産・輸入各種ポリオレフィン樹脂、フィルム製品の販売。

取扱品目

国産・輸入ポリオレフィン樹脂(LLDPE、HDPE、LDPE 他)
PEフィルム製品(国産・輸入のPE袋・フィルム 他)

フィルム・機能材部

各種プラスチックフィルム(包装材料、工業用)の販売。
フィルム加工製品の販売。

取扱品目

国内・海外ラミネート用フィルム
ラミネート製品
国内・海外工業材料用フィルム

シート・成形材部

各種シートの原料から成形品までの販売。
スポーツ資材の材料、製品の販売。

取扱品目

シート用樹脂(PP、PS、PET)
各種樹脂シート、成形品(PP、PS、PET)
スポーツ関連(テニス・バドミントン・野球用オーバーグリップ、
テニスラケット用振動吸収材他、スポーツアクセサリ全般)

TOPICS

生分解性バイオマス樹脂ビジネス

世界でプラスチックごみによる海洋汚染が深刻化するなか、合成樹脂第二本部では環境に負荷を与えない生分解性バイオマス樹脂に着目し、米国BiologiQ社が廃棄ジャガイモを主原料として開発した「NuPlastiQ」の取り扱いを開始します。この資材は、他の樹脂と配合することでフィルムやシート、ボトルなどに加工が可能です。今後の生分解性バイオマス樹脂ビジネスの拡大に向けて、樹脂コンパウンド事業を展開するタイ工場で、2020年春から商業生産を開始する予定です。

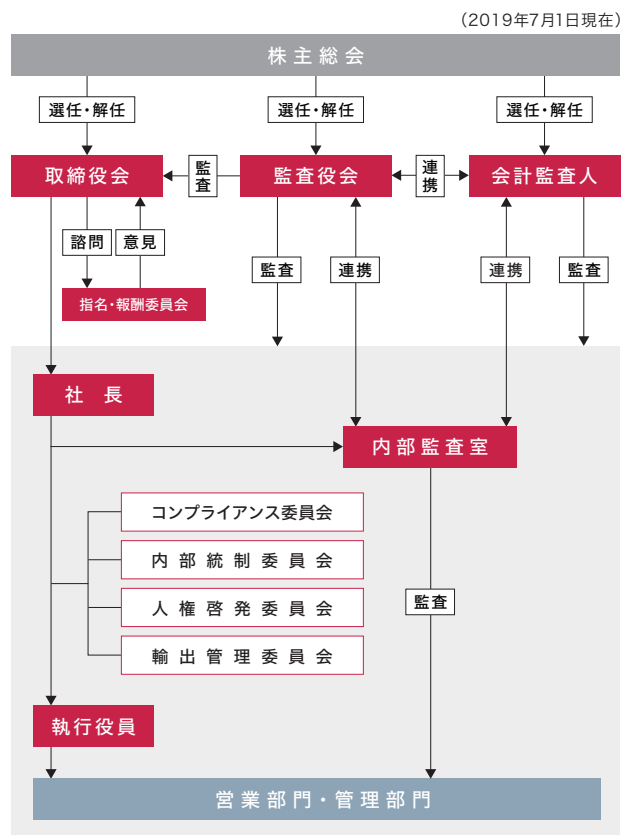


生分解性バイオマス樹脂NuPlastiQ

コーポレート・ガバナンス／リスクマネジメント

当社では、全てのステークホルダーの皆様に対する企業価値の持続的向上を図るためには、コーポレート・ガバナンスの充実が重要であると認識しており、体制の整備、強化を図るべくさまざまな施策を講じています。

またコンプライアンスおよび業務の適正を確保するため、コンプライアンス委員会、内部統制委員会、輸出管理委員会などの会議体を設置しています。



指名・報酬委員会

経営陣幹部の指名や選解任、取締役の報酬などの決議にあたっては客観性、透明性を確保するため、独立社外取締役が過半数を占める任意の指名・報酬委員会で審議を行います。

審査会議

経営者の意思決定のための審査機関として、会社の重要な業務執行や投融資に関する案件の審議を目的とする会議体です。特に投融資に関する案件については、事後の検証を行い、継続または撤退の判断をします。関係者は国内外から参加し、経営者と直接議論します。

輸出管理委員会

外国為替及び外国貿易法等の規制を遵守し、適切な輸出管理を実施するため、輸出管理委員会を設置し輸出管理体制を整備しています。業務推進室に安全保障貿易管理部を設けるとともに、各営業本部に輸出管理責任者を置き運用の徹底を図っています。

サプライチェーンCSR行動指針

グローバルなビジネスの場において社会的責任を果たすため、サプライチェーン上で人権・労働問題ならびに環境問題が起こらないよう配慮しています。問題があるサプライヤーに対しては、その改善に向けて自ら積極的に関与していくことが求められています。

当社では「稲畑産業サプライチェーンCSR行動指針」を策定して各サプライヤーへの周知徹底を図り、サプライヤーとのコミュニケーションを強化しています。

社会

人財育成／グローバル人財育成

若手社員に対して化学品に関する基礎研修をはじめ、新入社員から中堅社員・管理職へとつながる階層別研修を実施しています。また、日本と海外グループ会社の従業員が集まり課題について英語でディスカッションする「Global Staff Meeting」を毎年開催するなど、グローバル市場でリーダーシップを発揮できる人財を育成するための研修制度を整えています。



日仏交流／日葡交流

創業者・稲畑勝太郎が19世紀後半にフランスに留学し、合成染料などの当時の先端技術を学んで以来、稲畑産業は日仏文化交流に尽力してきました。現在も大阪日仏協会を通じて、両国の相互理解と友好親善の促進を図っています。

六代目の稲畑勝太郎現社長が在大阪ポルトガル名誉領事や大阪日本ポルトガル協会の会長を務めるなど、日葡文化交流の促進にも取り組んでいます。



環境・安全

環境保全活動

当社はISO14001環境マネジメントシステムの認証を取得し、地球温暖化への対応や廃棄物の削減など、さまざまな環境保全活動を実践しています。

また、各事業本部で環境負荷低減に貢献するエコ商材を扱っています。特に太陽光発電向けの蓄電池やソーラーモジュール、バイオマス、風力に至るまでの再生可能エネルギーに関連するエコ商材を取り扱っています。今後も新たなエコ商材の企画・販売を通じて環境負荷の低減に貢献します。

化学物質管理体制

当社は、日本化学品輸出入協会に加盟し、法改正に関する動向をタイムリーに把握するとともに、輸入化学品の厳格な管理体制を構築しています。

さらに、新入社員に対して法規制の基礎知識を学ぶ研修を実施しているほか、外部講師による講習会を毎年開催するなど、最新の化学物質規制動向を学ぶ機会を設けています。

主要な連結子会社

■アイ・アンド・ピー(株)	宮城県大崎市	合成樹脂の成型加工
■(株)一光園	大阪府堺市	水産物等の加工販売
■稲畑ファインテック(株)	大阪市中央区	化学品等の販売
■エヌ・アイ・シー(株)	東京都葛飾区	プラスチックフィルム製品の加工販売
■オルディ(株)	大阪市中央区	プラスチックフィルム製品・梱包資材の加工 および付帯機器、システムの設計販売
■関西高分子工業(株)	奈良県大和郡山市	プラスチックフィルムの製造
■太平洋プラスチック(株)	埼玉県蓮田市	プラスチックフィルムの製造
■Inabata India Private Ltd.	デリー近郊	合成樹脂、電子材料、化学品等の輸出入、販売
■PT. IK Precision Indonesia	ジャカルタ近郊	合成樹脂の成型加工
■PT. Inabata Creation Indonesia	ジャカルタ近郊	グリップテープの加工
■PT. Inabata Indonesia	ジャカルタ	合成樹脂、化学品等の輸出入、販売
■PT. S-IK Indonesia	ジャカルタ近郊	樹脂コンパウンド
■Inabata Malaysia Sdn. Bhd.	クアラルンプール	合成樹脂等の輸出入、販売
■SIK Color(M) Sdn. Bhd.	ジョホール	樹脂コンパウンド
■IK Plastic Compound Phils. Inc.	ピニャン(比ラグナ州)	樹脂コンパウンド
■Inabata Philippines, Inc.	ピニャン(比ラグナ州)	合成樹脂等の販売
■Inabata Singapore(Pte.) Ltd.	シンガポール	合成樹脂、化学品、情報電子関連の輸出入、販売
■Apple Film Co., Ltd.	バンコク近郊	プラスチックフィルムの製造
■Hi-Tech Rubber Products Co., Ltd.	アユタヤ(タイ)	各種ゴム成型品の製造
■Inabata Thai Co., Ltd.	バンコク	合成樹脂、化学品、食品、機械等の輸出入、販売
■SIK (Thailand) Ltd.	バンコク近郊	樹脂コンパウンド
■Apple Film Da Nang Co., Ltd.	ダナン(ベトナム)	プラスチックフィルムの製造
■Inabata Vietnam Co., Ltd.	ハノイ	合成樹脂、電子材料、化学品等の輸出入、販売
■SIK Vietnam Co., Ltd.	ハイフォン	樹脂コンパウンド
■稲畑工貿(大連保税區)有限公司	大連	樹脂コンパウンドおよび合成樹脂、化学品等の輸出入、販売
■稲畑産業(香港)有限公司	香港	合成樹脂、機械、電子材料、化学品等の輸出入、販売
■広州稲畑産業貿易有限公司	広州	合成樹脂、機械、電子材料、化学品等の輸出入、販売
■山陽稲畑複合塑料(東莞)有限公司	東莞(中国・広東省)	樹脂コンパウンド
■上海稲畑産業貿易有限公司	上海	合成樹脂、化学品等の輸出入、販売

■ 日本 ■ 東南アジア／インド ■ 北東アジア ■ 米州 □ 欧州 (2019年7月1日現在)

■ 上海稲畑精細化工有限公司	上海	塗料原料の加工
■ Inabata Korea & Co., Ltd.	ソウル	電子材料等の輸出入、販売
■ 華稲股份有限公司	新竹(台湾)	電子材料、半導体関連機器、化学品等の輸出入、販売
■ IK Plastic Compound Mexico, S.A. de C.V.	シラオ(メキシコ)	樹脂コンパウンド
■ Inabata Mexico, S.A. de C.V.	ケレタロ(メキシコ)	合成樹脂、食品、化学品等の販売
■ NH Inabata, S. de R.L. de C.V.	ケレタロ(メキシコ)	ホイス、クレーンの設計、施工販売
■ DNI Group, LLC	ノバト(米カリフォルニア州)	食品の輸出入、販売
■ Inabata America Corp.	ニューヨーク	化学品、電子材料、食品原料、合成樹脂等の輸出入、販売
□ Inabata France S.A.S.	パリ近郊	化学品の輸出入、販売
□ Pharmasynthese S.A.S.	ノルマンディー(フランス)	精密化学品の製造
□ Inabata Europe GmbH	デュッセルドルフ(ドイツ)	電子材料、化学品、合成樹脂等の輸出入、販売
□ Inabata UK Ltd.	パーミンガム近郊	不動産賃貸管理および倉庫業

主要な持分法適用会社

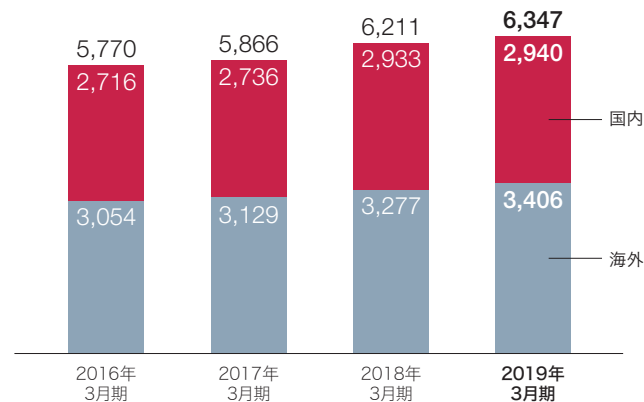
■ アルバック成膜(株)	埼玉県秩父市	電子工業・光学工業用材料部品の製造
■ エヌアイボックス(株)	茨城県稲敷市	パッケージの印刷・成型
■ (株)クリーン・アシスト	東京都新宿区	合成樹脂製品および雑貨品の販売
■ 丸石化学品(株)	大阪市西区	化学品等の販売

その他主要な関係会社

■ アイケイファーム積丹(株)	北海道積丹郡	農産物の生産、販売
■ アイケイファーム余市(株)	北海道余市郡	農産物の生産、販売
■ イナバタオブテック(株)	神奈川県川崎市	光半導体封止樹脂に関する研究、開発
■ 稲畑ナノダックス(株)	東京都中央区	合成樹脂成型加工品等の研究開発、製造販売
■ 天津稲畑産業国際貿易有限公司	天津	合成樹脂、電子材料、化学品等の輸出入、販売
■ Inabata Brasil Importação e Exportação Ltda.	サンパウロ	化学品、合成樹脂等の販売

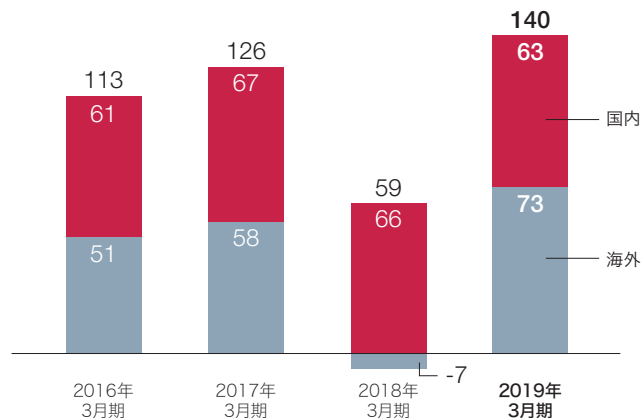
売上高

(億円)



営業利益

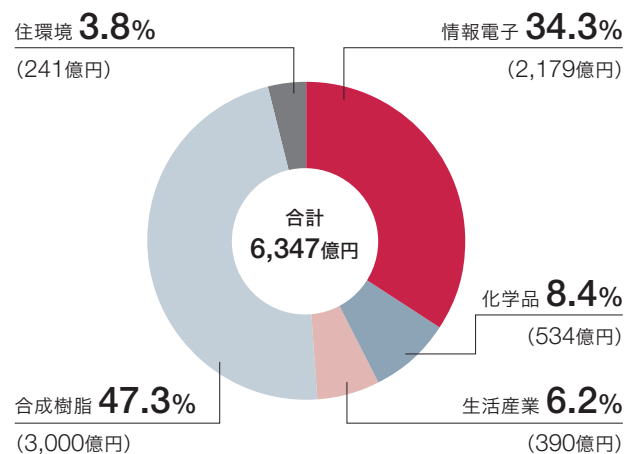
(億円)



※連結営業利益と国内・海外の営業利益の合計との差は連結会計上の消去によるものです。

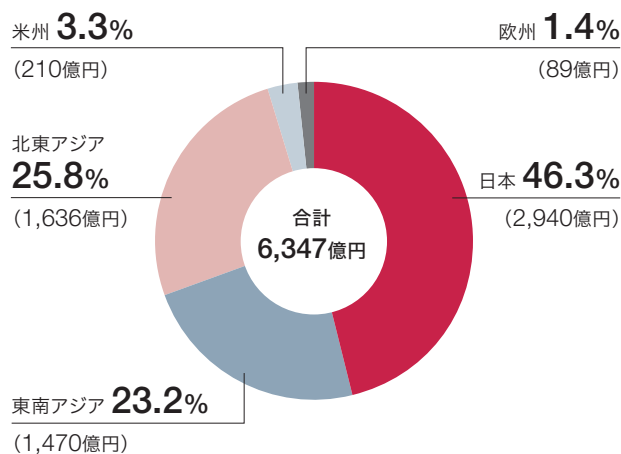
事業区分別 売上高・構成比

(2019年3月期)



所在地別 売上高・構成比

(2019年3月期)

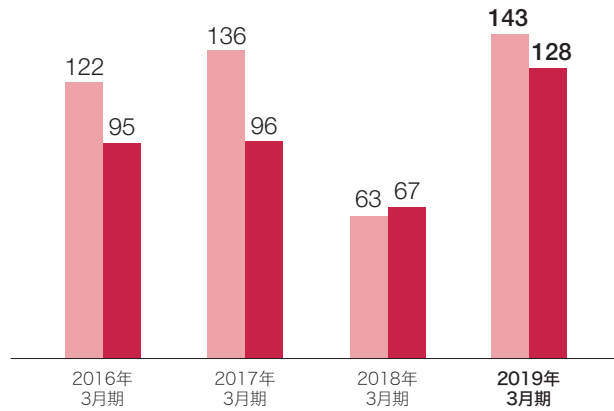


※記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。

経常利益と当期純利益※

(億円)

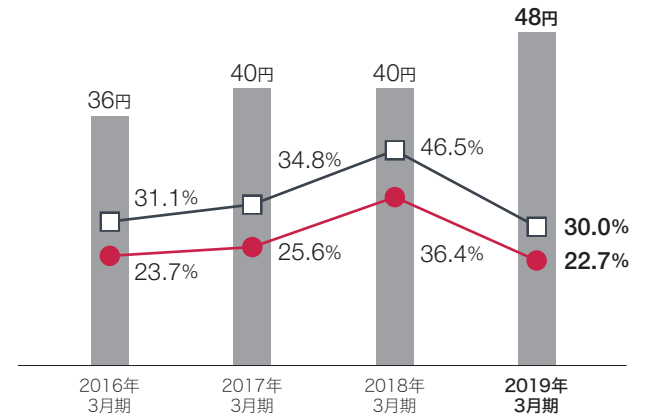
■ 経常利益 ■ 当期純利益



※親会社株主に帰属する当期純利益

1株当たり配当額と株主還元指標

■ 1株当たり配当額 ● 連結配当性向 □ 総還元性向

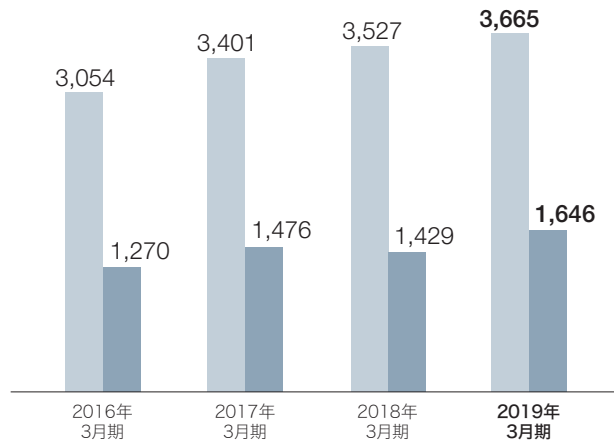


※総還元性向 = (配当金額 + 自己株式取得額) ÷ 当期純利益 × 100

総資産と純資産

(億円)

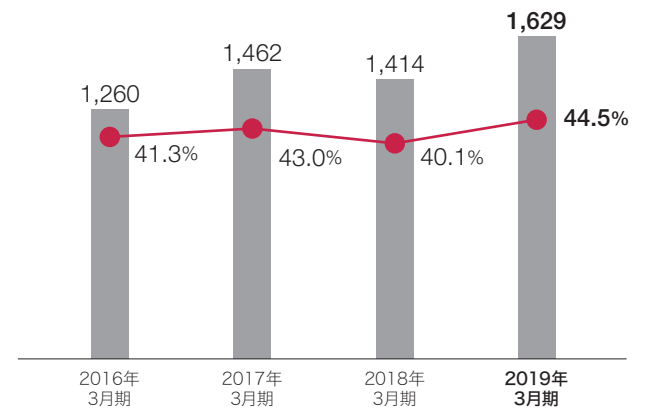
■ 総資産 ■ 純資産



自己資本と自己資本比率

(億円)

■ 自己資本 ● 自己資本比率



役員 (2019年7月1日現在)



代表取締役社長執行役員
稲畑 勝太郎



代表取締役専務執行役員
赤尾 豊弘



代表取締役専務執行役員
横田 健一



取締役常務執行役員
佐藤 友彦



取締役常務執行役員
杉山 勝浩



取締役常務執行役員
安江 範臣



取締役
蟹澤 俊行



取締役
出口 敏久



取締役
佐藤 潔

代表取締役
社長執行役員

稲畑 勝太郎

代表取締役
専務執行役員

赤尾 豊弘

情報電子・生活産業セグメント担当、
欧米地区担当

代表取締役
専務執行役員

横田 健一

総務広報・情報システム・財務経理・IR・
業務推進・リスク管理担当、海外管理担当

取締役
常務執行役員

佐藤 友彦

化学品セグメント担当、人事担当

取締役
常務執行役員

杉山 勝浩

情報電子セグメント担当補佐、
北東アジア地区担当

取締役
常務執行役員

安江 範臣

合成樹脂セグメント担当、
東南アジア地区担当

取締役

蟹澤 俊行

(東京ガス株式会社 社友)

取締役

出口 敏久

(住友化学株式会社 特別顧問)

取締役

佐藤 潔

(東芝機械株式会社 社外取締役)

常勤監査役

望月 卓

監査役

高橋 慶孝

監査役

森本 親治

監査役

柳原 克哉

執行役員

小田 吉哉

(丸石化学品株式会社 取締役副社長)

執行役員

大橋 基雄

名古屋支店長、合成樹脂第一本部長補佐

執行役員

幡本 裕之

リスク管理室長

執行役員

花木 和宏

北東アジア総支配人

執行役員

久保井 伸和

財務経営管理室長

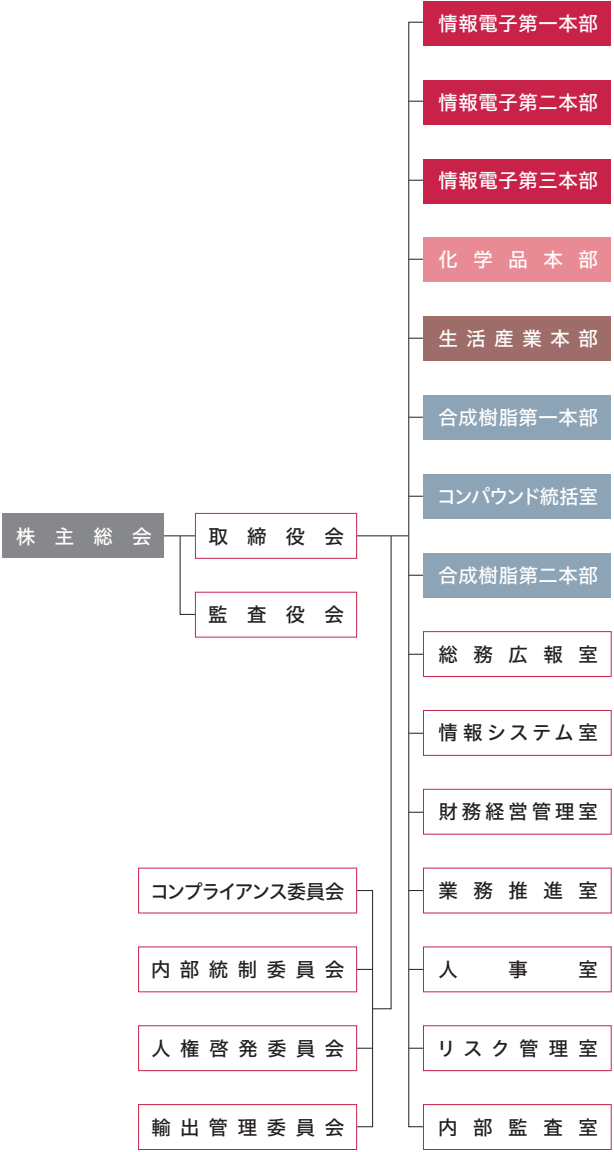
執行役員

河合 紳也

東南アジア総支配人

※取締役 蟹澤俊行、出口敏久および佐藤潔は、社外取締役であります。
※監査役 高橋慶孝、森本親治および柳原克哉は、社外監査役であります。
※社外取締役の括弧内表記は、当社以外の主な兼務職であります。
※執行役員の括弧内表記は、出向先での役職であります。

組織図 (2019年7月1日現在)



会社情報 (2019年3月31日現在)

会 社 名	稲畑産業株式会社 (英文: Inabata & Co., Ltd.)
創 業 年 月 日	1890年(明治23年)10月1日
設 立 年 月 日	1918年(大正7年)6月10日
資 本 金	93億6千4百万円
国 内 拠 点 [※]	大阪本社、東京本社、名古屋支店、 塩尻営業所、浜松営業所、 九州営業所(霧島市)
海 外 拠 点 [※]	シンガポール、バンコク、ジャカルタ、上海、 香港、台北、ロサンゼルス、ニューヨーク、 デュッセルドルフなど17カ国約60拠点
従 業 員 数	632名(グループ会社への出向者を含む) [連結: 4,184名]
発行済株式の総数	63,499,227株
株 主 数	7,506名
会 計 監 査 人	有限責任 あずさ監査法人
上 場 証 券 取 引 所	東京 第一部
ウ ェ ブ サ イ ト	www.inabata.co.jp

※2019年7月1日現在

1890- 黎明期

創業と成長の時代

染料・染織機械の輸入販売からスタートし
ケミカル分野を中心に事業を発展

- 1890 京都市に稲畑染料店を創業
- 1895 関東に進出、東京に支店開設
- 1897 本店を大阪市に移転
- 1918 株式会社稲畑商店を設立
- 1922 稲畑 勝太郎、大阪商業会議所(現・大阪商工会議所)第10代会頭(～1934年)に就任
- 1926 稲畑 勝太郎、日本染料製造(株)の社長となる
- 1937 ベルギー・ブリュッセルに出張所開設
- 1938 名古屋支店を開設
- 1940 インドネシア・パタビヤ(現・ジャカルタ)に出張所開設
- 1943 商号を稲畑産業株式会社に変更
ソウル、上海、天津、青島、奉天の各出張所を支店とする
インドネシア・ジョグジャカルタに出張所開設
- 1944 日本染料製造、住友化学工業(株)(現・住友化学(株))と合併、
稲畑産業、住友化学工業(株)の染料、化学品、医薬品の
特約販売店となる

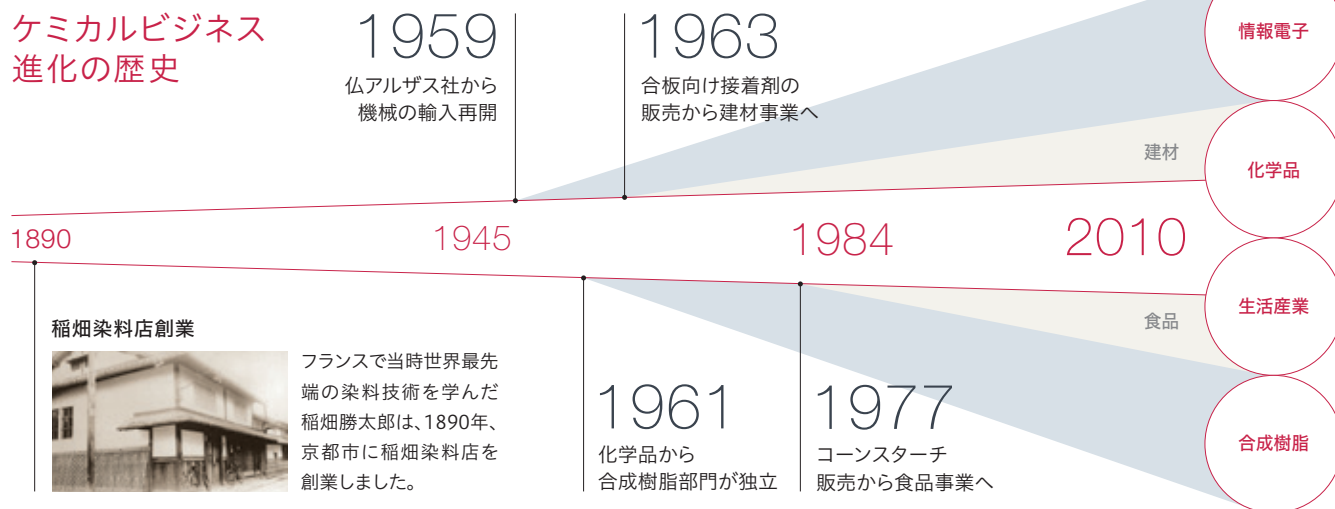
1945- 飛躍期

再構築と復興の時代

戦後の混乱の中、医薬品事業の強化とともに
新たな領域へ躍進

- 1961 大阪証券取引所市場第二部に株式上場
- 1962 東京証券取引所市場第二部に株式上場
- 1966 医薬品部を医薬事業部と改組
- 1970 本部制を採用し、染料・化学品・合成樹脂・機械の各本部を設置
- 1973 東京・大阪証券取引所第一部銘柄に指定
- 1974 建材本部発足
- 1975 化学品本部内に食品部を新設
- 1976 シンガポールに戦後初の海外営業拠点となる
Inabata Singapore(Pte.) Ltd. を設立
- 1978 米国・ニューヨークにInabata America Corp. を設立
- 1979 海外本部を新設
- 1983 東京支店を東京本社と改称し、両本社制を採用
機械電子材料本部発足

ケミカルビジネス 進化の歴史



1984- 改革期

挑戦と試練の時代

医薬事業の分離と海外拠点の拡大により
新しい価値を創造

- 1984 医薬事業部を分離し、住友化学工業(株)(現・住友化学(株))との共同出資による住友製薬(株)を設立(現・大日本住友製薬(株))
- 1987 タイ・バンコクにSiam Inabata Co., Ltd. を設立(現・Inabata Thai Co., Ltd.)
- 1988 食品本部発足
香港に稲畑産業(香港)有限公司を設立
ベルギー・ブリュッセルにInabata Europe S.A. を設立
- 1989 台湾に華稲股份有限公司を設立
- 1990 フランス・パリにInabata France S.A.R.L. を設立(現・Inabata France S.A.S.)
創業100周年記念事業として京都に「関西日仏交流会館(現・ヴィラ九条山)」建設(竣工1992年11月)
大阪本社新社屋が完成
- 1991 インドネシア・ジャカルタにPT. Inabata Indonesiaを設立
- 1995 中国・東莞に山陽稲畑複合塑料(香港)有限公司を設立(現・山陽稲畑複合塑料(東莞)有限公司)
- 1996 中国・上海に上海稲畑産業貿易有限公司を設立
- 1998 フィリピン・マニラにInabata Philippines, Inc. を設立
- 1999 情報電子・住環境・化学品・合成樹脂・食品の5分野に事業を再編
- 2000 ISO14001(環境マネジメントシステム)の認証を取得
英国・ロンドンにInabata UK Ltd. を設立
- 2001 台湾に住友化学工業(株)(現・住友化学(株))と合併で液晶用偏光板製造の住華科技股份有限公司を設立
- 2002 中国・大連に稲畑工貿(大連保税區)有限公司を設立
- 2003 ベトナム・ハイフォンにSIK Vietnam Co., Ltd. を設立
- 2005 ISO9001(品質マネジメントシステム)の認証を取得
タイ・バンコクにNobel NC Co., Ltd. を設立
- 2006 フランス・エルブーフにPharmasynthese S.A.S. を設立
韓国・ソウルにInabata Korea & Co., Ltd. を設立
ポーランド・トルンにInabata Poland Sp. z o. o. を設立
- 2007 中国・上海に上海稲畑精細化工有限公司を設立
- 2008 メキシコ・ケレタロにNH Inabata, S. de R.L. de C.V. を設立
ベトナム・ハノイにInabata Vietnam Co., Ltd. を設立
インド・ニューデリーにInabata India Private Ltd. を設立
- 2009 メキシコ・ティファアナにIK-Tech de Mexico, S. de R.L. de C.V. を設立
インドネシア・ジャカルタ近郊にPT. Inabata Creation Indonesiaを設立

2010- 第4創業期

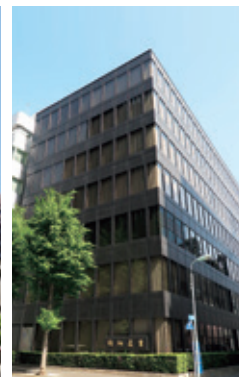
進化と創造の時代

商社でありつつ、製造・物流・ファイナンス機能でも
さらなる価値を有するベストパートナーへ

- 2010 創業120周年を機に、「経営理念= Mission」「目指す姿= Vision」「価値観=IK Values」を新しく制定
- 2012 情報電子・化学品・生活産業・合成樹脂・住環境の5分野に事業を再編
メキシコ・ケレタロにInabata Mexico, S.A. de C.V.、メキシコ・シラオにIK Plastic Compound Mexico, S.A. de C.V. を設立
- 2013 ミャンマー・ヤンゴンにInabata Thai Co., Ltd., Yangon Branch を開設
トルコ・イスタンブールにInabata Singapore (Pte.) Ltd., Istanbul Representative Office を開設
フィリピン・ピニヤンにIK Plastic Compound Phils. Inc. を設立
ブラジル・サンパウロにInabata Brasil Importação e Exportação Ltda. を開設
ベトナム・ダナンにApple Film Da Nang Co., Ltd. を設立
ドイツ・デュッセルドルフにInabata Europe GmbH を設立
- 2015 UAE・ドバイにInabata Europe GmbH Middle East (Branch) を開設
- 2019 情報電子・化学品・生活産業・合成樹脂の4分野に事業を再編



大阪本社



東京本社

IK 稲畑産業株式会社

